

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 日

愛知県知事 殿

愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地
株式会社 豊田自動織機

提出者 取締役社長 伊藤 浩一

住所 愛知県半田市日東町4番地15
氏名 株式会社豊田自動織機 東知多工場
工場長 竹内 浩二

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (0569)26-5500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	かぶしきがいしゃ とよたじどうしょつき ひがしちたこうじょう 株式会社 豊田自動織機 東知多工場
事業場の所在地	愛知県半田市日東町4番地15
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	31 : 輸送用機械器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額 159,930 百万円
③従業員数	1,292 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり(添付資料No.1、No.2)

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり(添付資料No.3)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】	
産業廃棄物の種類	
排 出 量	t

① 現状 (これまでに実施した取組)

別紙のとおり(添付資料No.3)

【目標】	
産業廃棄物の種類	
排 出 量	t

②計画 (今後実施する予定の取組)

別紙のとおり(添付資料No.3)

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり(添付資料No.3)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり(添付資料No.3)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（排水汚泥）	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1,367 t	t
② 計画	(これまでに実施した取組)		
	・汚泥、運転方法改善による稼働率UP		
	【目標】		
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥（排水汚泥）	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1,408 t	t
(今後実施する予定の取組)			
・汚泥、運転方法改善による稼働率UP			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
		(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
② 計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

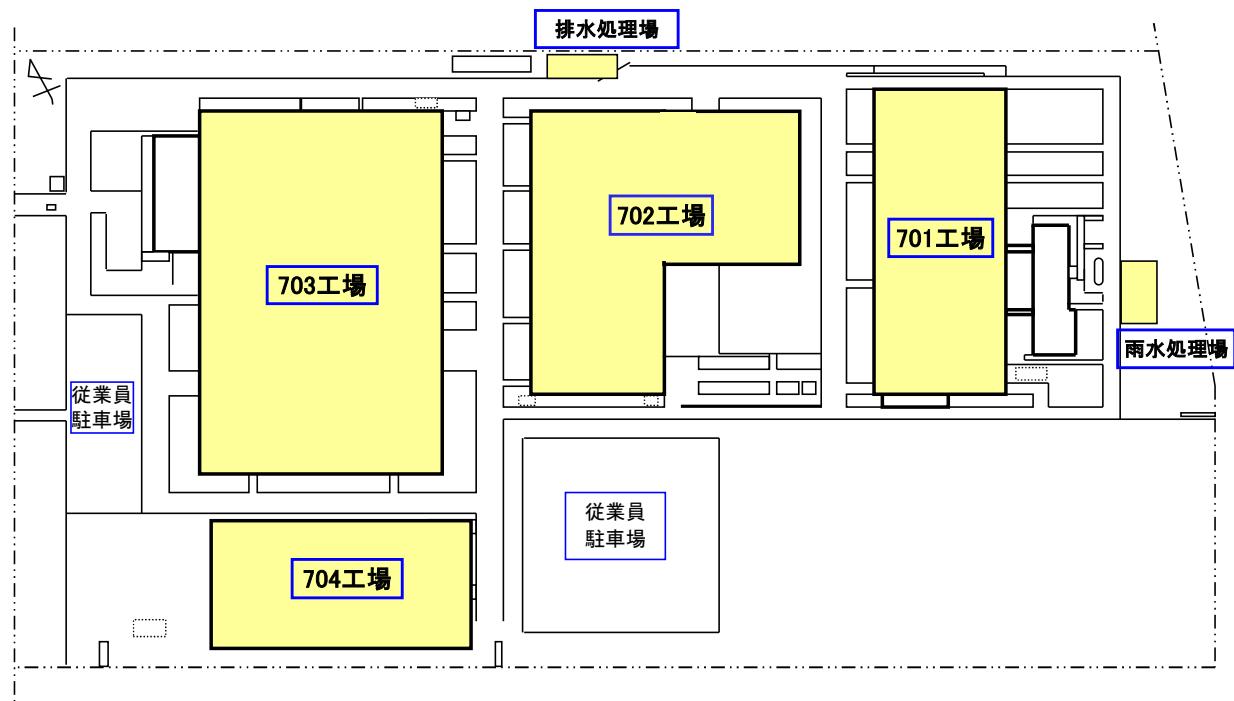
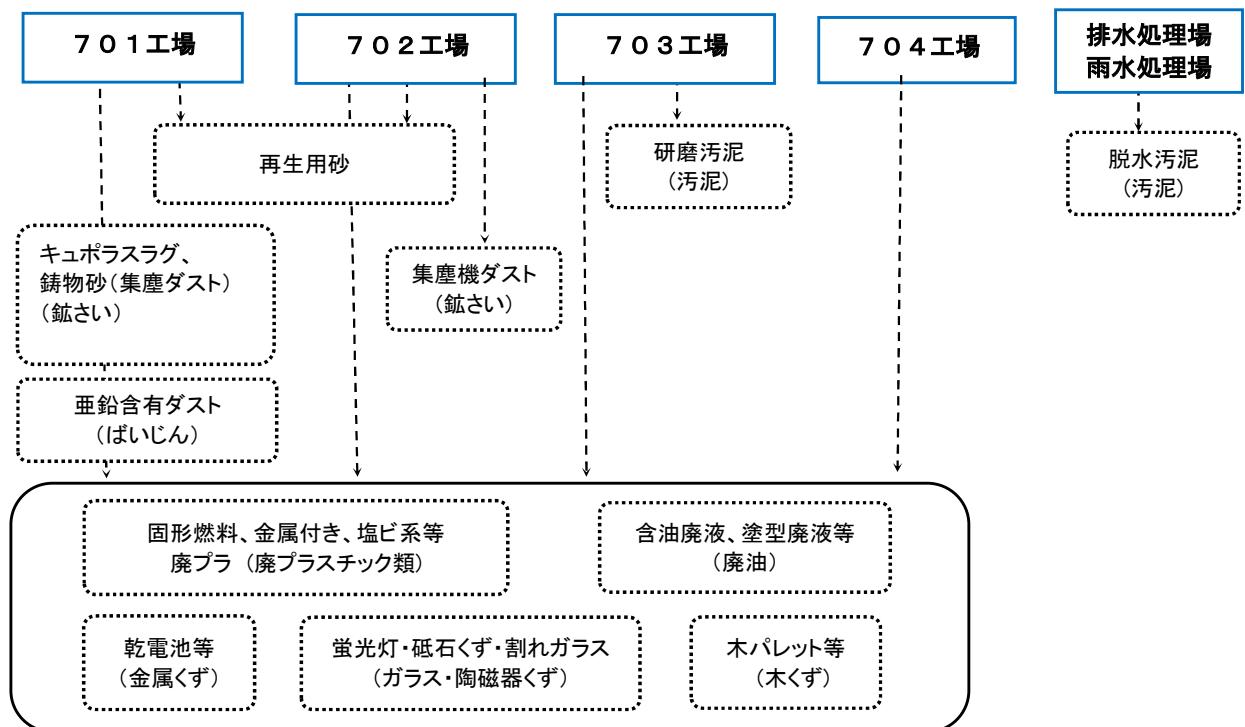
		【前年度（令和6年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	
		t	t
		再生利用業者への 処理委託量	
		t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	
		t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
		t	t
		(これまでに実施した取組)	
		別紙のとおり（添付資料No.4）	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
別紙のとおり(添付資料No.5)			
※事務処理欄			

備考

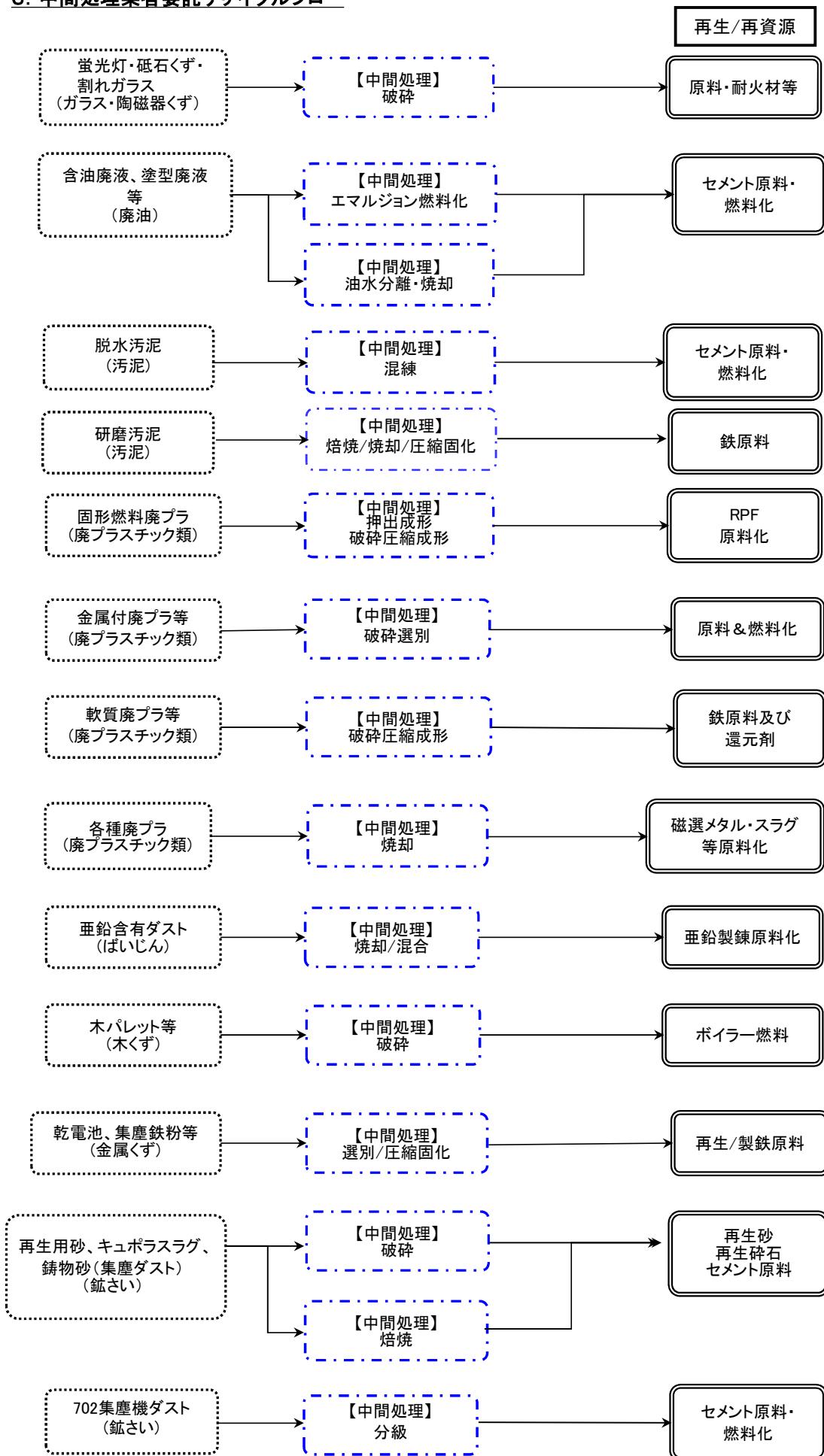
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面) ④産業廃棄物の一連の処理の工程

1. 主な工場廃棄物発生場所2. 主な発生場所別廃棄物

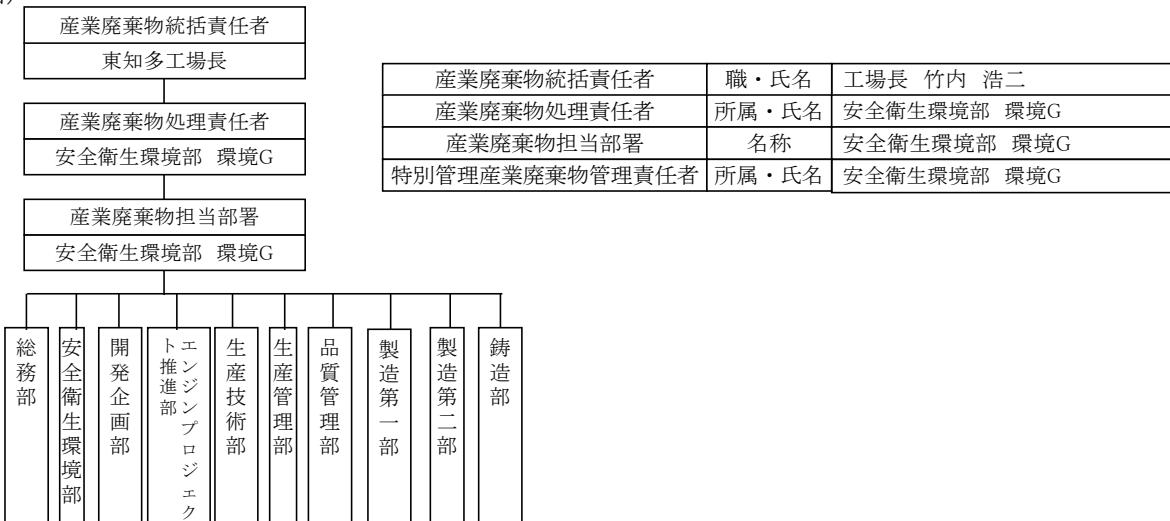
(第1面) ④産業廃棄物の一連の処理の工程

3. 中間処理業者委託リサイクルフロー



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】					
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類
	排出量	1,958 t	322 t	15 t	180 t
	産業廃棄物の種類	木くず	鉱さい	ばいじん	廃酸
	排出量	46 t	45,136 t	152 t	3t
(これまでに実施した取組)					
<ul style="list-style-type: none"> 工場各部署と事務局で生産環境分科会を組織し、廃棄物発生の抑制取組み実施 全社イベント「青空市場」（改善事例紹介）の横展実施 廃プラ分別による有価化 新規処理業者開拓による有価化 					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類
	排出量	2,120 t	377 t	15 t	187 t
	産業廃棄物の種類	木くず	鉱さい	ばいじん	廃酸
	排出量	48 t	46,204 t	155 t	3t
(今後実施する予定の取組)					
<ul style="list-style-type: none"> 製品設計段階からの廃棄物削減活動の強化 各分科会や情報交換会等の改善事例横展の実施を継続 同業他社等との交流会による削減アイテムの発掘 					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> 廃油、汚泥、廃プラスチック類、陶磁器くず、木くず、鉱さい、ばいじん、等 それぞれに分別、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> 廃プラスチック類等の分別マニュアル内容見直し全従業員への分別ルール徹底

(第4面)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
全処理委託量	591 t	322 t	15 t	180 t	160 t
優良認定処理業者への処理委託量	534 t	322 t	10 t	163 t	160 t
再生利用業者への処理委託量	453 t	58 t	5 t	81 t	160 t
認定熱回収業者への処理委託量	138 t	264 t	10 t	99 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	木くず	鉱さい	ばいじん	廃酸	
全処理委託量	46 t	45,136 t	152 t	3 t	
優良認定処理業者への処理委託量	46 t	4,494 t	76 t	3 t	
再生利用業者への処理委託量	46 t	45,136 t	152 t	0 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	3 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	

(これまでに実施した取組)

- ・再生処理業者に委託して、再生碎石等、再資源化の推進。
- ・最終処分となる産業廃棄物の抑制活動の推進。
- ・現状（ゼロエミッション）を維持・継続する。

①現状

(第5面)

		【目標】					
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	
		全処理委託量	640 t	377 t	15 t	187 t	165 t
		優良認定処理業者への処理委託量	578 t	377 t	10 t	169 t	165 t
		再生利用業者への処理委託量	491 t	68 t	5 t	84 t	165 t
		認定熱回収業者への処理委託量	149 t	309 t	10 t	103 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	産業廃棄物の種類	木くず	鉱さい	ばいじん	廃酸		
		全処理委託量	48 t	46,204 t	155 t	3 t	
		優良認定処理業者への処理委託量	48 t	4,602 t	78 t	3 t	
		再生利用業者への処理委託量	48 t	46,204 t	155 t	0 t	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	3 t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)							
<ul style="list-style-type: none"> ・中間処理業者の定期実地確認を継続。 ・優良認定処理業者への処理委託検討、推進。 ・熱回収業者への処理委託検討、推進。 							
※事務処理欄							